

令和4年度 各大会実施要項 共通事項

- (1)参加資格 参加者は、日本ソフトテニス連盟(以下、日本連盟という)に会員登録している者で、かつ公認審判員制度の有資格者であること。また、会員登録している団体は本連盟を構成する支部(市町村協会等)に登録しているものとする。
一般男女は本県在住の大学生・ふるさと選手を含む。また、高体連に所属せず、支部登録している者の参加を認める。
※東奥日報杯・ソフトテニス週間交流大会は別途定める。
- (2)年齢基準 令和4年4月1日現在を基準とする。(ソフトテニス週間交流大会を除く)
- (3)競技方法 イ. リーグ戦およびトーナメント方式
ロ. 日本ソフトテニス連盟ハンドブックにより7回ゲームとする。
- (4)参加組数と組合せ 参加組数は制限なし。組合せは3ペア以上で成立し、2ペア以下の申込みは、下位種別に自動的にエントリー変更し組合せを作成する。
- (5)申込先 青森県ソフトテニス連盟 理事長 宛 (FAX017-735-4090)
Email:t-shimpo@beige.plala.or.jp
- (6)その他 ◎参加選手は、県連作成のゼッケンを着用すること(毎年度更新)また、ゼッケンには、会員登録をした所属団体名を記載すること。
◎ウェア、シューズ等は、日本連盟ユニフォーム等着用基準による。
◎選手変更の場合は、受付終了までに選手変更届を提出し、許可を受けること
◎審判員カードとワッペン、イエローカードを必ず携行すること。
◎大会に係る映像等の広報活用と一切の権利は本連盟に帰属することを承諾したうえで参加申込みすること。
◎新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、参加すること。
- (7)例外事項
- ① ソフトテニス週間交流大会については、公認審判員制度の資格は問わないものとする。
また、会員登録を未登録の者の参加を認める。(参加料を別途、設定する)
- ② ソフトテニス週間交流大会のみの参加者については、ゼッケン着用は必要なしとするが、他の県連主催大会へ出場する者については、県連作成のゼッケン着用すること。

② 第62回八戸市長杯争奪県下ソフトテニス選手権大会要項

- (1)期日 令和4年5月1日(日)午前9時25分 開会式 受付8時45分～
- (2)会場 八戸市東運動公園テニスコート(8面)
- (3)種別 一般男子・一般女子
成年男子・成年女子 (35歳以上)4月1日現在で満35歳以上の者
シニア男子45・シニア女子45 // 満45歳以上の者
シニア男子55・シニア女子55 // 満55歳以上の者
シニア男子60・シニア女子60 // 満60歳以上の者
シニア男子65・シニア女子65 // 満65歳以上の者
シニア男子70・シニア女子70 // 満70歳以上の者
シニア男子75・シニア女子75 // 満75歳以上の者
- (4)使用球 日本連盟公認球

- (5)参加料 1組 3,000円(大会受付時に納入のこと)
(6)申込期限 令和4年4月21日(木)必着
(7)申込書 大会参加申込書(様式4②)に所定の内容を記載のこと。

③ 県下ソフトテニス選手権大会要項

- (1)期日 令和4年5月15日(日)午前9時25分 開会式 受付8時45分～
(2)会場 新青森県総合運動公園テニスコート(10面)
(3)種別 一般男子・一般女子
成年男子・成年女子 (35歳以上)4月1日現在で満35歳以上の者
シニア男子45・シニア女子45 // 満45歳以上の者
シニア男子55・シニア女子55 // 満55歳以上の者
シニア男子60・シニア女子60 // 満60歳以上の者
シニア男子65・シニア女子65 // 満65歳以上の者
シニア男子70・シニア女子70 // 満70歳以上の者
シニア男子75・シニア女子75 // 満75歳以上の者
(4)使用球 日本連盟公認球
(5)参加料 1組 3,000円(受付時に納入のこと)
(6)申込期限 令和4年5月5日(木)必着
(7)申込書 大会参加申込書(様式4②)に所定の内容を記載のこと

④ 県下ソフトテニス選手権黒石大会要項

- (1)期日 令和4年5月29日(日)午前9時25分 開会式 受付8時45分～
(2)会場 黒石運動公園テニスコート(10面 うち6面砂入り人口芝)
(3)種別 一般男子・一般女子
成年男子・成年女子 (35歳以上)4月1日現在で満35歳以上の者
シニア男子45・シニア女子45 // 満45歳以上の者
シニア男子55・シニア女子55 // 満55歳以上の者
シニア男子60・シニア女子60 // 満60歳以上の者
シニア男子65・シニア女子65 // 満65歳以上の者
シニア男子70・シニア女子70 // 満70歳以上の者
シニア男子75・シニア女子75 // 満75歳以上の者
(4)使用球 日本連盟公認球
(5)参加料 1組 3,000円(受付時に納入のこと)
(6)申込期限 令和4年5月19日(木)必着
(7)申込書 大会参加申込書(様式4②)に所定の内容を記載のこと

⑤ 第71回東奥日報杯争奪県下ソフトテニス総合選手権大会兼第77回全日本ソフトテニス選手権大会選考会要項

- (1) 期日 令和4年8月14日(日)午前9時25分 開会式 受付8時30分～
- (2) 会場 新青森県総合運動公園テニスコート(20面)
- (3) 種別 一般男子・一般女子
成年男子・成年女子(35歳以上)4月1日現在で満35歳以上の者
シニア男子45・シニア女子45 // 満45歳以上の者
シニア男子55・シニア女子55 // 満55歳以上の者
シニア男子60・シニア女子60 // 満60歳以上の者
シニア男子65・シニア女子65 // 満65歳以上の者
シニア男子70・シニア女子70 // 満70歳以上の者
シニア男子75・シニア女子75 // 満75歳以上の者
- (4) 競技方法 イ. リーグ戦およびトーナメント方式
ロ. 日本ソフトテニス連盟ハンドブックにより7回ゲームとする。
- (5) 参加資格 参加者は、日本ソフトテニス連盟に会員登録している者で、かつ公認審判員制度の有資格者であること。
一般男女には、小学生・中学生・高校生のペアの出場を認める。ただし小学生・中学生はジュニア審判、高校生は公認審判員制度の有資格者であることが望ましい。
- (6) 使用球 日本連盟公認球
- (7) 参加組数 制限なし
- (8) 参加料 1組 3,000円(受付時に納入のこと)
ただし、小学生・中学生・高校生については、1組2,000円とする。
- (9) 申込期限 令和4年7月29日(金)必着
- (10) 申込書 大会参加申込書(様式4②)に所定の内容を記載のこと
- (11) 選考会 第77回全日本選手権大会に出場する2ペアを選考する。ただし、学連登録者については除く。選考は、本大会出場者でかつペアで参加できる者を優先する。場合によっては、決定戦を行う場合がある。

⑥ 第18回ソフトテニス週間交流大会／

青森県ミックスダブルスソフトテニス大会 要項

- (1) 期日 令和4年10月10日(月・祝)午前9時25分 開会式 受付8時45分～
- (2) 会場 新青森県総合運動公園テニスコート
- (3) 種別 一般A(44歳以下の男女)
一般B(コンソレーション:敗者復活による)
シニアA(45歳以上の男女)
シニアB(55歳以上の男女)
シニアC(60歳以上の男女)
※ 年齢は、大会前日を基準とする。
※ 一般A予選リーグ終了後、敗者復活戦(コンソレーション)を行う。(一般B)
ただし、当日の参加状況や天候等により、行わない場合がある。

- (4)競技方法 イ. リーグ戦およびトーナメント方式
 ロ. 日本ソフトテニス連盟ハンドブックによる。
 ※ 種別に該当しないペア編成の場合は、上のクラスへの申込とする。
 例1) 25歳男子と46歳女子は「一般A」とする。
 例2) 70歳男子と54歳女子は「シニアA」とする。
- (5)参加資格 参加者は、原則として、日本ソフトテニス連盟に会員登録している者とする。
ただし、会員登録していない者の参加も認める。 ペア申込みを原則とする。
- (6)使用球 日本連盟公認球
- (7)参加組数 制限なし
- (8)参加料 会員登録者 1人1,500円(受付時に納入のこと)
会員登録・未登録者 1人2,000円(受付時に納入のこと)
- (9)申込期限 令和4年9月29日(木)必着
- (10)その他 ◎参加組数が規定数に満たない場合の取扱は、大会本部に一任のこと。

⑦ 県下インドアソフトテニス選手権大会

兼第57回東北インドアソフトテニス大会予選会要項

- (1)期日 令和5年1月21日(土) 午前9時25分 開会式 (一般・成年を除く全種別)
 令和5年1月22日(日) 午前9時25分 開会式 (一般男女・成年男女)
 受付は、8時45分～
- (2)会場 スポカル・イン黒石
- (3)種別 一般男子・一般女子
 成年男子・成年女子(35歳以上)4月1日現在で満35歳以上の者
 シニア男子45・シニア女子45 // 満45歳以上の者
 シニア男子55・シニア女子55 // 満55歳以上の者
 シニア男子60・シニア女子60 // 満60歳以上の者
 シニア男子65・シニア女子65 // 満65歳以上の者
 シニア男子70・シニア女子70 // 満70歳以上の者
- (4)競技方法 イ. リーグ戦およびトーナメント方式
 ロ. 日本ソフトテニス連盟ハンドブックにより7回ゲームとする。
 ハ. 東北インドア大会出場推薦順位決定戦を別途行なう。
- (5)使用球 日本連盟公認球
- (6)参加料 1組 4,000円(受付時に納入のこと)
- (7)申込期限 令和5年1月11日(水)必着
- (8)申込書 大会参加申込書(様式4③)に、東北インドア大会の出場権を得た場合参加するかどうかを記載のうえ申し込むこと。

⑧第77回国民体育大会ソフトテニス競技 成年の部 青森県選考会実施要項

- (1) 期日 令和4年7月2日(土)～3日(日) 受付8時30分～ 開始式9時20分(予定)
- (2) 会場 岩木山総合公園テニスコート(砂入り人口芝10面)
- (3) 種別 成年(男・女)の2種別とする。参加ペア数は制限しない。
- (4) 選考方法

①ダブルスマッチ(ペアを固定せず)、シングルスマッチ、フィジカルテスト※1の結果を数値化し総合的な選手評価※2により決定する。フィジカルテストは、5方向走、プロアジリティ、Y0Y0テストを中心に行う。(※1 フィジカルテストはミニ国体、本国体上位進出には基礎体力向上と身体機能向上が絶対条件であるため、個々の能力をチームスタッフが把握し、中長期的な競技者育成強化における競技者の自立を促進させることを目的とし実施する。※2 総合的選手評価は、個人の身体能力の高さやスキル、チームとしての戦略への個人の対応力等を総合的に評価することをいう)

②総合的選手評価は、競技者育成プログラムを基本理念するものとする。

③選考会では、男女各6名を監督が選考し、国体チームスタッフ、理事長による承認を経て県代表とする。(※県連盟推薦選手を含む) 選考選手は、第1順位から第6順位が付与される。④選考上位5名を、東北ミニ国体・本国体のエントリー選手とする。ただし、選考会后、大会(東北ミニ国体・本国体)までに行う強化練習会や大会等の成績等を加味して、監督が最終的に出場選手を決定する。

※県連盟推薦選手とは、日本代表及び全日本アンダー所属選手、日本連盟、東西連盟主催大会(東日本・西日本・全日本シングルス・全日本社会人・全日本選手権)及び学連主催大会(インカレ・東西インカレ等)等において上位進出した者をいう。

(5)参加資格 総則に定められたものの外、下記による。

- ① 参加する選手は、(公財)日本体スポーツ会の定める「アマチュアスポーツのあり方」及び(公財)日本スポーツ協会加盟団体が定める「アマチュア規定」を遵守すること。
- ② 参加者は日本ソフトテニス連盟に会員登録している者で、かつ公認審判員制度の有資格者であること。
- ③ 第75回または第76回国民体育大会(県予選会及びブロック大会を含む)において選手及び監督として青森県以外の県から参加したものは出場できない。
但し、新卒者並びに結婚、離婚により居住地を示す現住所及び勤務地を変更した者、ふるさと選手制度を活用する者はこの限りではない。
- ④ 成年(一般)は2004年4月1日までに生まれたもの。
- ⑤ 成年に出場する選手の所属は居住地を示す現住所、勤務地又はふるさと選手制度による「ふるさと」のいずれかとする。
- ⑥ 選手は本県に2022年4月30日以前から本国体終了時(2022年10月11日)まで引き続き居住、勤務または通学している者とする。「トップアスリートの国体参加資格の特例措置」「東日本大震災に係る選手及び監督の国体参加資格の特例措置」の適用を受ける者は、この限りではない。
- ⑦ 個人(1名)申込みとする。

- ⑧ 選手選考及び代表決定後の国体チーム方針(大会/合宿等)について、県連盟国体チームスタッフの方針に一任することを了解のうえ、申し込むこと。
- (6)競技規則 日本ソフトテニス連盟ハンドブックによる。
- (7)使用球 日本連盟公認球
- (8)参加料 1名 2,000円(受付時に納入のこと)
- (9)申込期限 令和4年6月23日(木)必着
- (10)申込書
- ① 参加申込みは、個人申込みとする。大会参加申込書(様式3⑤)を提出すること
 - ② 「ふるさと選手」については、別紙様式「ふるさと登録届」を提出すること
新規登録⇒1A 継続⇒1B
 - ③ 全日本レベルの大会成績を有する者は、<別紙>戦績報告書に所定の内容を記載のうえ、参加申込書と一緒に提出すること。戦績は選考会から過去1年間の実績とする。
- (11)その他
- ① 服装は連盟公認のものとし、食事・宿泊は各自手配のこと。
 - ② 何らかの理由により、選考会が行われなかった場合は、国体チームスタッフ推薦選手を、監督・理事長の承認を経て青森県代表とする

<令和4年度例外事項>

「西日本学生選手権に出場するため、国体1次選考会に出場できない選手の救済措置」

令和3年度は、本県の選考会と、西日本学生(7/2~6:今治市)と期日が同じとなったため、本県の国体選考会に出場を希望している選手が、出場機会を失ったことについて、下記により例外措置を講ずる。

記

1. 8月14日に行われる東奥日報杯に出場し2位以内に入ること、その後行われる強化合宿に参加できる者であること。
2. ペアの制約はない。
3. 上記の救済措置を利用しようとする選手は、7月2~3日の選考会申込締め切りまでに、大会参加申込様式3-⑤に、次の文言を記載し意思表示すること。

「〇〇〇〇(フルネーム)／(所属大学名・学年を明記する)は、国体選考会に参加希望ですが、西日本学生に出場するため選考会に出場できません。8月14日の東奥日報杯に出場します。東奥日報杯への参加申込は7月29日までにいきます。」

4. その他

- ① 意思表示なく、東奥日報杯に出場し、結果2位以内に入っても救済措置は適用しない。
- ② 県外学生は「ふるさと登録」が前提となるので、併せて手続きを行うこと。
- ③ 例外規定をうける西日本学生とペアになり、東奥日報杯に出場し、結果2位以内に入った場合でも、例外規定で救済を受けるのは、あくまでも西日本の学生のみとなる。

⑨ 第67回全日本実業団ソフトテニス選手権青森県予選会要項

- (1) 期日 令和4年5月28日(土)午前10時 開会式 受付9時～
- (2) 会場 黒石運動公園テニスコート
- (3) 種別 男子・女子(3組の団体戦)
- (4) 参加資格 (1)会社、銀行、官公庁等のチームであり、出場選手は参加チームで会員登録をしていること(ただし選手を兼ねない部長・監督はこの限りではない)
- (2)公認審判員制度の有資格者であること。(ただし、選手を兼ねない部長はこの限りではない。)
- (3)チームの編成単位は、本県に登録した1所属団体単位を原則とする。ただし、出資が50%以上の関連団体(子会社・外郭団体等)は出資団体の同一所属団体として認める。
- (4)部長及び出場選手は所属団体に常時勤務する者とする。(ただし選手を兼ねない監督はこの限りではない。)
- (5)2022年度開始から本大会までに、所属団体を移動した選手(選手を兼ねる部長・監督を含む)は、今年度は出場できない。
- (5) 参加料 1チーム 15,000円(受付時に納入のこと)
- (6) チーム編成 (1)男子、女子ともに年齢制限はしない。
- (2)1所属団体からA・B2チームまでの出場は認めるが、A・B間における選手の交代は認めない。(A・Bチームおよび男子チーム・女子チームの監督兼任は認めない)
- (3)部長1名、監督1名、選手4名以上8名以内でチームを編成する。ただし、選手5名以内でチームを編成する場合は、受付時に競技委員長まで届出ること。部長・監督は選手登録すれば選手を兼ねることができる。
- (7) 試合方法 (1)3ペアによる点取り対抗戦とする。
- (2)対戦の都度オーダーを代えてもよい。
- (3)トーナメント戦またはリーグ戦方式とする。
- (4)対戦の審判は、相互審判により行う。
- (8) 使用球 日本連盟公認球
- (9) 申込期限 令和4年5月18日(水)必着
- (10) 申込書 大会参加申込書(様式2:実業団用)に所定の内容を記載のこと
- (11) 申込先 青森県ソフトテニス連盟 理事長 宛
- (12) 勝者 今大会の上位3チームに下記大会への出場権を与える。
- ・ 第67回全日本実業団選手権大会
令和4年8月5日(金)～7日(日)栃木県那須塩原市で行われる大会へ、3チーム推薦
 - ・ 第36回日本実業団リーグ東北予選会
令和4年6月12日(日)に二本松市で行われる大会に3チーム推薦
- (13) 参加条件 チーム全員が背中に日連指定のゼッケンを着用し、四隅必ずを止めること。
会員登録証、公認審判員ワッペン、イエローカードを携行し、審判を担当する時は、左胸にワッペンを着用すること。
選手変更する場合、「選手変更についての取扱い(別表2)」記載内容を遵守

すること。なお、選手を変更・追加できる総数は、当初の申し込みより2名以内とする。(選手を兼ねない、部長・監督は除く)